



Annual Report **2021**

東京女子医科大学

令和3(2021)年度 女性医療人キャリア形成センター報告書

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学
理事長 岩本 絹子

平素より本学の活動にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。深く御礼申し上げます。また、令和2(2020)年2月頃から長く続くコロナ禍において、医療の最前線でご尽力されておられる医療従事者・関係各位の皆様にご心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。一日も早くこの事態が収束することを心より願っております。

さて、この度、令和3(2021)年度「女性医療人キャリア形成センター報告書」が完成いたしました。ぜひご一読いただき、本学の活動へのご理解をより一層深めていただき、今後とも変わらぬご指導ならびにご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

本学は、明治33(1900)年に吉岡彌生先生によって創設されて以来、建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と理念「至誠と愛」のもと、女性医療人を育成し続けており、令和3(2021)年12月5日に、創立121周年を迎えました。女性活躍推進法が成立した現代においては、社会に貢献する女性医療人そして指導的立場の役割を担う人材の輩出が望まれております。また、コロナ禍により社会全体が激変する中、医療人としての真価が問われており、本学の果たす役割は非常に大きく、より一層重要な存在となっております。

本学の卒業後教育における人材育成の拠点である女性医療人キャリア形成センターにおいては、①ダイバーシティ研究環境整備、②研究力向上・リーダー育成、③上位職への積極的登用に取り組んでおります。本学の教授全体に占める女性教授の割合については、本事業開始時(平成28(2016)年5月時点)は22.2%(26名/117名中)でありましたが、本事業による環境整備や人材育成の推進により、令和4(2022)年3月末時点で28.1%(39名/139名中)にまで増加することができました。今後も引き続き、本学における本事業の成果がより一層実り多いものとなり、女性医療人が生涯を通じて活躍し続けることができる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学
学長 丸 義朗

本学教職員が各部門で参加する本事業は継続して成果をあげています。これは本学教職員が女性医療人の運営に関心を持ち、また価値あるものとして認識し、その分担に尽力している表れです。建学の精神にある「社会貢献できる質の高い女性医人の育成」こそが学祖吉岡彌生先生から継承されてきた本学の礎である以上、本事業は必要不可欠な取り組みです。コロナ禍の影響を受けた年でしたが、臨機応変にきめ細かい対応策を講じ、事業の継続性を何より重視しています。事業の方法論や成果が、他大学にも波及し、女性医療人育成の手本となることを祈念いたします。

目次

ごあいさつ	1
センター長あいさつ、副センター長あいさつ	4
部門長あいさつ	5
女性医療人キャリア形成センター組織図、運営委員	6
各部門運営委員(2022年4月現在)	7
女性医療人リーダー育成部門	10
女性医師・研究者支援部門	16
女性医師再研修部門	22
看護職キャリア開発支援部門	28
ダイバーシティ環境整備事業推進室	34
YouTube(e-ラーニング)	46
活動報告	48
業績一覧	52
女性医療人キャリア形成センターのあゆみ	57
女性医療人キャリア形成センター基金	58

センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
センター長

肥塚 直美

常務理事

学校法人東京女子医科大学は吉岡彌生先生によって女子の医育機関として明治33年(1900年)に設立されました。本学の建学の精神は「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し、社会に貢献する女性医人を育成する」であり、本学の理念は「至誠と愛」です。この建学の精神と理念に則り、社会に貢献する女性医療人を育成し、広く地域社会の発展に貢献してきました。本学は文部科学省平成28年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択され、この6年間で、女性医療人の(1)ダイバーシティ研究環境整備

(勤務環境改善、育児支援、介護支援)、(2)研究力向上・リーダー育成、(3)上位職への登用に向けて女性医療人キャリア形成センターを中心に取り組みを進め、成果を上げることができました。この特色型の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととして令和3年10月に同ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、取り組みを進めております。本センターには「女性医師・研究者支援部門」、「女性医師再研修部門」、「看護職キャリア開発支援部門」、「女性医療人リーダー育成部門」のプロジェクト部門とこれら部門と有機的に連携する「ダイバーシティ環境整備事業推進室」を設置し多面的に活動しております。今後も勤務継続支援に加え、キャリア形成を通じてリーダーとなる人材を育成し、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。

皆様のご理解、ご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

副センター長あいさつ



女性医療人キャリア形成センター
副センター長

齋藤 加代子

遺伝子医療センター
ゲノム診療科 特任教授

「女性医療人キャリア形成センター」における1年を振り返りまして、COVID-19による活動の制限の影響が大きかったと思います。様々な事業が対面では困難になり、WEB開催となりました。しかし一方では、学会参加は現地に行かず、WEB参加でオンデマンドになったことで、子育て中または親の介護中の女性医療人にとって、COVID-19前より参加できるようになった、医師においては専門医の点数がとりやすくなった、などの意見も聞かれます。災いを福となす姿勢も女性医療人にとって必要なことでもあります。

さて、文部科学省人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の事業は着実に進捗し、5年目を終了し最終年度を迎えます。事業の申請時に、2020年に女性教授の割合を30%とするという202030の数値目標を掲げました。審査員からは「とんでもない」という空気を感じました。そして、2021年3月31日に、女性教授の割合41/136(30.1%)を達成いたしました！女性医療人キャリア形成センターの委員の皆様、下村裕見子課長付はじめ事務の皆様にご感謝申し上げます。

全ての女性医師、看護師、研究者を対象としてファミリーサポートなどの子育て支援、介護支援とともに、女性医療人の研究力の向上、リーダー育成、勤務環境整備など、個々の状況に対応したきめ細かい支援事業を発展させていくことが必要です。東京女子医科大学における女性医療人のさらなる飛躍を推進するために、皆様のご支援をお願い申し上げます。

ダイバーシティ
環境整備事業推進室
室長

本多 祥子

解剖学講座
神経分子形態学分野
准教授



2018年4月より前任の野原理子先生を引き継ぎダイバーシティ環境整備事業(特色型)の推進に尽力して参りました。2021年度からは同事業(先端型)が採択され、YAYOIプロジェクトと銘打って様々な形で女性研究者支援を開始しております。また自分自身の介護経験から、念願の介護サポート事業も立ち上げることができました。女性医療人の皆様が、本学で常に楽しく快適に御自身の夢を追求し、それを形にできるよう、今後も引き続きお手伝いをさせていただきたいと考えております。研究・教育や臨床の現場で日々活躍しておられる皆様のご意見やお力添えが何より大切と存じます。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

女性医療人
リーダー育成部門
部門長

石黒 直子

医学部長
皮膚科学講座
皮膚科学分野
教授・基幹分野長



本部門では、女性医療人の指導者としての資質および能力の開発を支援しています。リーダーとなるために必要なもの、自分の目指す道を見出すためにどのように行動すべきかをともに考え、実践して頂いております。本科生へのキャリア面談、リーダーシップセミナー、キャリアセミナー、ピアラーニング、FDで構成され、2021年度はCOVID-19禍でもWebを活用し実施いたしました。令和3年度にあらたに文科省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用として「YAYOIプロジェクト」が立ち上がりました。それと連動しつつ、今後もキャリア形成を目指して努力される皆様を引き続き支援してまいります。

女性医師・研究者支援部門
部門長

佐藤 麻子

臨床検査科 教授



女性医師・研究者支援部門では、子育て支援、研究支援員制度、女子中高生の理系進路選択支援を行っております。子育て支援では、院内保育、病児保育の事業支援とともに「女子医大・東京医大ファミリーサポート」、またサポーター対象の「子育て支援セミナー」を実施し、きめ細やかな支援を可能としています。研究支援員制度では、女性医師・研究者に支援員を配置することで研究の遂行を支援しています。また、女子中高生を対象とし、理系進路の紹介、実際働いている女性の体験談など理系進路選択のための支援を行っています。今後も、皆様からのなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女性医師再研修部門
部門長

多賀谷 悦子

内科学講座
呼吸器内科学分野
教授・基幹分野長



本部門では、種々の理由で離職された女性医師の復職に向けて、出身大学に関わらず、ご相談を受け支援を行っております。相談者の臨床経験や現在の個人の状況、そして、今後どのような働き方を目指したいかなど、詳しくヒアリングを行い、復職のための研修や実習などの情報をご提供し、個々に合った復職支援を検討しております。キャリアカウンセリングを行っていく中で、初めと違う方向性を見出されることもあります。働き方改革も進み、女性医師の活躍により、医療全体の活性化が期待できることから、結婚、出産、育児などを契機に離職されている方が、医師としての社会貢献できるように、お力添えをさせて頂ければと考えております。なお、コロナ禍の状況を鑑み、現在リモートでのカウンセリングを主体に行っております。

看護職
キャリア開発支援部門
部門長

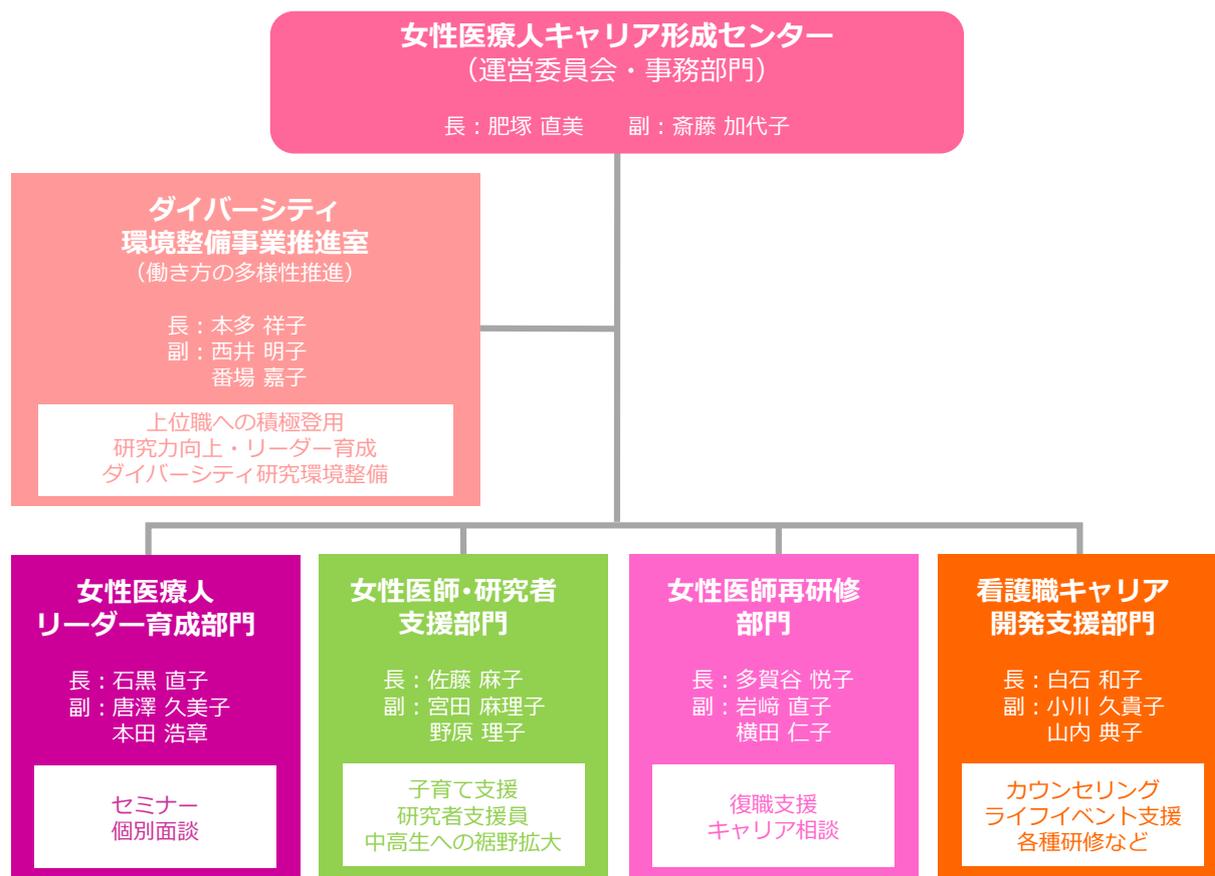
白石 和子

東京女子医科大学病院
看護部長



本部門は2009年4月の設立から今年で14年目を迎えました。看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指しています。キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト、自己学習プロジェクト、変革推進育成プロジェクト、はたらき方支援プロジェクト、さらに2019年度より「看護研究推進」を立ち上げ、5つのプロジェクトで活動しています。院内教育や各種委員会活動とも連携しながら看護職者のニーズを把握し、生涯にわたるキャリア教育を進化させています。皆さまが自分らしくキャリアを積んで行かれますよう、看護職キャリア開発支援部門として応援していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

女性医療人キャリア形成センター組織図(2022年4月現在)



女性医療人キャリア形成センター運営委員(2022年4月現在) ※順不同、敬称略

職 位	氏 名
女性医療人キャリア形成センター長	肥塚 直美
女性医療人キャリア形成センター副センター長	斎藤 加代子
女性医療人リーダー育成部門長、医学部長	石黒 直子
女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
女性医師再研修部門長	多賀谷 悦子
看護職キャリア開発支援部門長	白石 和子
ダイバーシティ環境整備事業推進室長	本多 祥子
医療部門担当理事	内湊 安子
教育部門担当理事	丸 義朗
東京女子医科大学病院 診療部門担当副院長	新浪 博
看護学部長	小川 久貴子

各部門運営委員(2022年4月現在) ※順不同、敬称略

女性医療人リーダー育成部門

	職 位	氏 名
部門長	医学部長、皮膚科学講座皮膚科学分野 教授・基幹分野長	石黒 直子
副部門長	放射線医学講座 放射線腫瘍学分野 教授・基幹分野長	唐澤 久美子
副部門長	実験動物研究所 所長・教授	本田 浩章
委員	女性医療人キャリア形成センター 副センター長	斎藤加代子
委員	女性医師・研究者支援部門長	佐藤 麻子
委員	女性医師再研修部門長	多賀谷悦子
委員	看護職キャリア開発支援部門長	白石 和子
委員	足立医療センター 麻酔科 教授	小森万希子
委員	足立医療センター 眼科 教授	須藤 史子
委員	麻酔科学講座 麻酔科学分野 教授・基幹分野長	長坂 安子
委員	微生物学免疫学講座 微生物学免疫学分野 教授・基幹分野長	柳澤 直子
委員	解剖学講座 顕微解剖学・形態形成学分野 教授・基幹分野長	石津 綾子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師再研修部門

	職 位	氏 名
部門長	内科学講座 呼吸器内科学分野 教授・基幹分野長	多賀谷悦子
副部門長	成人医学センター 所長・教授	岩崎 直子
副部門長	学生健康管理室 准教授	横田 仁子
委員	小児科学講座 小児科学分野 非常勤嘱託	平澤 恭子
委員	足立医療センター 耳鼻咽喉科 准教授	余田 敬子
委員	八千代医療センター 眼科 准教授	篠崎 和美
委員	成人医学センター 講師	松村美由起
委員	八千代医療センター 乳腺・内分泌外科 講師	地曳 典恵
委員	産婦人科学講座 産婦人科学分野 講師	秋澤 叔香
委員	皮膚科学講座 皮膚科学分野 講師	福屋 泰子
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子

女性医師・研究者支援部門

	職 位	氏 名
部門長	臨床検査科 教授	佐藤 麻子
副部門長	生理学 神経生理学分野 教授・基幹分野長	宮田 麻理子
副部門長	衛生学公衆衛生学 公衆衛生学分野 教授・基幹分野長	野原 理子
委員	生理学 分子細胞生理学分野 教授・基幹分野長	三谷 昌平
委員	小児科学 小児科学分野 教授・基幹分野長	永田 智
委員	予防医学科 教授	村崎 かがり
委員	足立医療センター内科 教授	小川 哲也
委員	解剖学 神経分子形態学分野 准教授	本多 祥子
委員	外科学 内分泌・小児外科学分野 准教授	堀内 喜代美
委員	統合教育学修センター 基礎教育学(日本語) 講師	辻村 貴子
委員	統合教育学修センター 基礎科学(化学) 講師	佐藤 梓
委員	経営統括部 人事課 課長補佐	小谷 浩平
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村 裕見子

看護職キャリア開発支援部門

	職 位	氏 名
部門長	看護部 看護部長	白石 和子
副部門長	看護学部長 教授	小川久貴子
副部門長	八千代医療センター 看護部	山内 典子
委員	看護部 副部長	内田 朋子
委員	看護部 副部長	佐藤美由紀
委員	足立医療センター看護部 師長	木内みゆき
委員	八千代医療センター看護部 師長	三好麻美子
委員	八千代医療センター看護部 看護師	近藤 直子
委員	看護学部 成人看護学 助教	峯川美弥子
委員	看護学部 精神看護学 助教 リエゾン精神看護専門看護師	異儀田はづき
委員	看護専門学校 主事	坂本 倫美
委員	女性医療人キャリア形成センター 課長付	下村裕見子



女性医療人キャリア形成センター

女性医療人リーダー育成部門



女性医療人リーダー育成部門



女性医療人リーダー育成部門は
 本学の女性教員および卒業生を対象として
 リーダーシップ育成・促進のための取組を行います。

東京女子医科大学の創業者である吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてよりよい社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための部門です。

令和3(2021)年度実績

昇進・昇格

教授	1名
准教授	3名
講師	3名
准講師	1名

女性医療人リーダー育成部門からの 教授昇格状況

平成29(2017)年度／教授**1**名、特命担当教授**2**名
 平成30(2018)年度／教授**8**名、特命担当教授**1**名
 令和1(2019)年度／教授**4**名、特命担当教授**1**名
 令和2(2020)年度／教授**3**名
 令和3(2021)年度／教授**1**名

登録者数



学内登録者状況

職位	在籍者数			学内女性医師等女性研究者 登録状況		
	全体	女性	割合 (女性)	女性	登録女性	割合
准教授	118	30	25.4%	30	27	90.0%
講師	147	43	29.3%	43	37	86.0%
准講師	72	23	31.9%	23	17	73.9%
准講師以上計	337	96	28.5%	96	81	84.4%
助教	806	362	44.9%	362	31	8.6%
合計	1143	458	40.1%	458	112	24.5%

女性医療人リーダー育成部門

英語セミナー

英語セミナー (YouTube限定公開)	キャリアアップのための英語セミナー 「①Presentations」 「②Oral communication」 「③Writing」	Philip Hawke 准教授 静岡県立大学 薬学部薬学科 (科学英語分野)
英語論文校正費用半額補助		かた・コミュニケーションズ

Tokyo Women's Medical University
Online English Seminar Series

Seminar 1
Presentations

Philip Hawke
Scientific English Program
Graduate School of Pharmaceutical Sciences
University of Shizuoka

Tokyo Women's Medical University
Online English Seminar Series

Seminar 2
Oral Communication

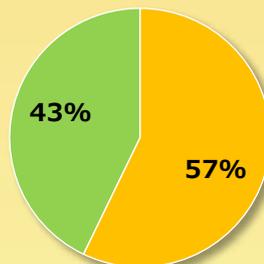
Philip Hawke
Scientific English Program
Graduate School of Pharmaceutical Sciences
University of Shizuoka

Tokyo Women's Medical University
Online English Seminar Series

Seminar 3
Writing

Philip Hawke
Scientific English Program
Graduate School of Pharmaceutical Sciences
University of Shizuoka

【講師】 Philip Hawke 准教授
静岡県立大学 薬学部薬学科(科学英語分野)



セミナー視聴者の全員が
・とともよかった
・よかった と回答

■ とともよかった ■ よかった

「キャリアアップのための英語セミナー」視聴アンケートより

- ・基本的なテクニックがすべて網羅された上で、講師がどの点を重要視するのかを個人的なコメントとして示している点がよかったです。
- ・具体例をあげながら、一つ一つのセクションが詳しく説明されており、実践的であると感じました。
- ・研究内容を伝え、議論する方法論について簡潔に説明いただき、大変勉強になりました。
- ・3本の動画すべて大変有用でした。共有してくださった資料を用いて、復習しようと思います。



女性医療人リーダー育成部門

リーダーシップセミナー・キャリアセミナー

リーダーシップセミナー (YouTube限定公開)	リーダーに求められるストレス対処の処方箋	赤穂 理絵 准教授 東京女子医科大学 精神医学講座
リーダーシップセミナー (オンライン)	リーダーシップセミナー	石黒 直子 教授・基幹分野長 東京女子医科大学 医学部長 皮膚科学講座
キャリアセミナー (オンラインビデオ)	無意識のバイアス	一般社団法人 男女共同参画学協会連絡会



【講師】赤穂 理絵 准教授
東京女子医科大学 精神医学講座

「リーダーに求められるストレス対処の処方箋」視聴アンケートより

心理状態に及ぼす影響についてよく理解できた。ストレスを知るには自分の状態を自身で感じ取る事。自己の承認が必要で語れる職場作りが重要である事。

医師はうつ病のリスクが高い事を知らなかったので勉強になった。明日からすぐにでもできる対処法が明示されていてよかった。

コロナ禍のストレスの現状、世界で報告されている研究結果、対処法までわかりやすく解説してくださり、理解できました。

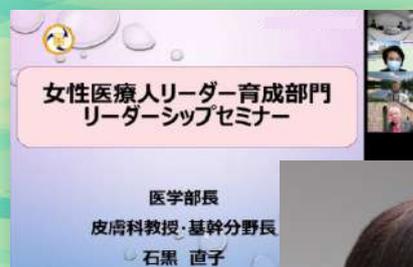
「リーダーシップセミナー」参加アンケートより

リーダーは最後まで自分が責任を持つという姿勢を持たなければならないということに改めて気づかされ、自分もそのような姿勢を持ちたいと思いました。

医学部長がどのような考えでリーダーシップをとり女子医大の先頭に立っていただいているのかを知ることができたこと、リーダーシップというものについて熟考する機会になった。

「何としてもやり遂げるという不退転の決意を持ち続けること」というご発言を自分も見習いたいと思いました。

【講師】石黒 直子 教授・基幹分野長
東京女子医科大学 医学部長
皮膚科学講座



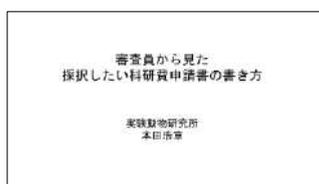
女性医療人リーダー育成部門

研究力向上セミナー

研究力向上セミナー (YouTube限定公開)	科学研究費申請説明会 (2020年8月開催)	本田 浩章先生 東京女子医科大学 実験動物研究所 所長・教授
研究力向上セミナー (YouTube限定公開)	臨床研究初学者のための統計の基本 ～医療系データの分析入門～	福島 教照先生 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師
研究力向上セミナー (YouTube限定公開)	統計学セミナー ～多変量解析の基礎～臨床研究への活用～	福島 教照先生 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師

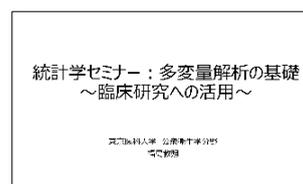
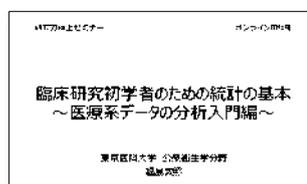
「科学研究費申請説明会」 視聴アンケートより

- ・研究助成の申請に実践できる内容でした。
- ・申請書の審査をする側の視点を知ることができ、どの点に留意する必要があるのかがわかった。



「医療系データの分析入門」・ 「多変量解析の基礎～臨床研究への活用」視聴アンケートより

- ・統計解析の実践に即した内容であり、大変勉強になりました。
- ・多変量解析についての疑問が解決できました。
- ・回帰係数の意味など丁寧に説明して下さりわかりやすかった。
- ・基本的な知識はすでに学習していたが、きちんとまとまっている内容は復習するのにちょうどいい内容と長さで、かつ忘れていた内容も学習しなおせたので良かったです。



女性医療人リーダー育成部門 その他の活動

ピアラーニング

各科の教授から直接キャリア形成過程の体験談を聞き、その場で質疑応答できる貴重な場です。自由にキャリア形成などについて話し合い、参加者は多数の良好事例を学ぶことができます。

※2021年度はCOVID-19の影響により中止



過去のピアラーニングの様子

個別面談

部門長・副部門長によるキャリア形成支援の個別面談を年1～2回実施しています。令和3(2021)年度は本科生 29名の面談を行いました。



女性医療人キャリア形成センター

女性医師・研究者支援部門



女性医師・研究者支援部門



多くの指導的立場となる優れた女性医師・研究者を育成し、価値ある業績を積み重ね、将来の日本の医療に貢献することを目指して、「女性医師・研究者支援部門」を設立いたしました。子育てなどのライフイベントと診療・教育・研究を両立し、キャリア形成を継続できる環境を整備します。

女性医師・研究者支援シンポジウム

6月26日（土）開催「女性医師・研究者支援シンポジウム2021」
（本年もCovid-19感染拡大防止のためビデオ収録となりました）

【挨拶】

岩本 絹子 理事長
丸 義朗 学長

【開会の挨拶】

肥塚 直美 常務理事、女性医療人キャリア形成センター長

【東京女子医科大学の女性医師研究者支援】

佐藤 麻子 女性医師・研究者支援部門長、臨床検査科 教授

【女性医師研究者研究発表会】2020年度「研究支援員制度」利用者による研究報告

座長：宮田 麻理子 生理学講座（神経生理学分野）教授・基幹分野長
女性医師・研究者支援部門副部門長

演者：河村（中山）寿子 生理学講座（神経生理学分野）助教

座長：山口 茂樹 外科学講座（下部消化管外科学分野）教授・基幹分野長

演者：伊藤（番場）嘉子 外科学講座（下部消化管外科学分野）准講師

【ダイバーシティ環境整備事業報告会】

演者：本多 祥子 ダイバーシティ環境整備事業推進室長、
解剖学講座（神経分子形態学分野）准教授

【ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業「勤務環境改善プロジェクト」報告】

座長：本多 祥子 ダイバーシティ環境整備事業推進室長、
解剖学講座（神経分子形態学分野）准教授

演者：富永 絢子 整形外科学講座（整形外科学分野）助教

演者：伊藤 聡子 精神医学講座（精神医学分野）医療練土研修生

【閉会の挨拶】

石黒 直子 医学部長



女性医師・研究者支援部門

本制度は妊娠・出産・育児・介護等のライフ・イベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった研究者や高いレベルの研究を行っている将来有望な女性研究者を支援するもので、「研究支援員」の配置により、研究の継続と躍進を支援し、本学に於ける研究活動の活性化を図ることを目的としています。

西井明子 先生

研究課題 家族性不整脈症候群の疾患特異的iPS心筋細胞の性質に関する検討

最終学歴 東京女子医科大学大学院修了（医学博士）

現 職 東京女子医科大学
予防医学科・総合診療科・循環器内科 准教授



研究内容 私は、2017年に報告した若年発症の進行性心臓伝導障害におけるコネキシン45のアミノ酸変異Cx45R75H症例の血液細胞から疾患特異的iPS細胞を作製し、心筋細胞に分化させることに成功しました。この疾患の治療法を見つけることが私の夢です。

支援内容 研究支援員の方には、iPS心筋細胞の電気生理学的解析、疾患モデルマウスの交配とジェノタイピングを行って頂きました。iPS心筋細胞はクローン毎に性質が異なるので、多数のクローンについての解析を行う必要があります。お手伝い頂き大変助かりました。

メッセージ 2人の子供を育てながらの臨床・教育・研究の両立は、本当に時間との闘いです。この支援のおかげで、疾患特異的iPS心筋細胞の貴重なデータを取ることができ、現在論文執筆の準備中です。本当にどうもありがとうございました。

辻真世子 先生

研究課題 肺血管—上皮連関の解明

最終学歴 東京女子医科大学大学院 内科学（第一） 卒業

現 職 東京女子医科大学
内科学講座呼吸器内科学分野 助教



研究内容 肺の形態的な研究は他の臓器と比べても解明が十分ではなく、呼吸器疾患の病態を知るためにはこれを達成しなければならないと考えています。私は大学院で組織学的研究を開始し、肺の形態と機能の美しさに魅了されました。今までに習得した研究手法や知識を活かしたいと考え、現在も研究を継続させていただいています。

支援内容 フローサイトメーターや組織解析用サンプルの調整と、細胞・臓器の遺伝子発現解析を主にお願いしました。

メッセージ 支援員の方にお手伝いいただいた分時間を有効に使えるため、時間的にも肉体的にも精神的にも余裕が生まれたことが一番よかったと思います。臨床業務を行なっている間にも支援員の方にデータを出していただきましたため、安心して臨床も研究も進めることができました。子どもの勉強を見る余裕もでき、御協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

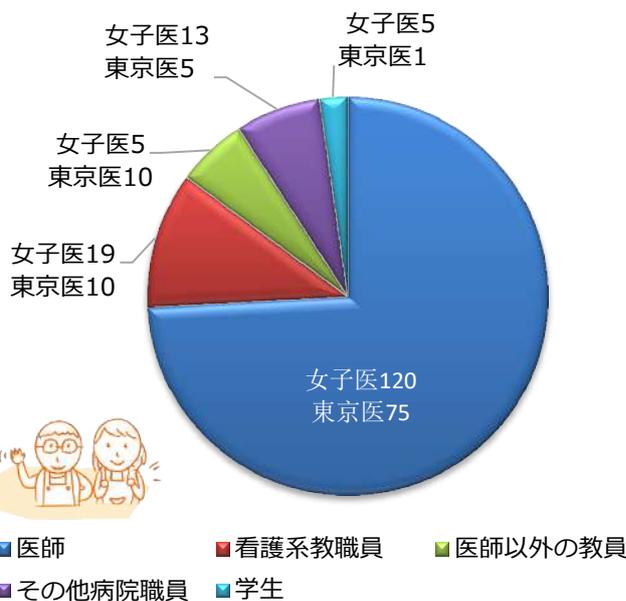
女性医師・研究者支援部門

女子医大・東京医大 ファミリーサポート

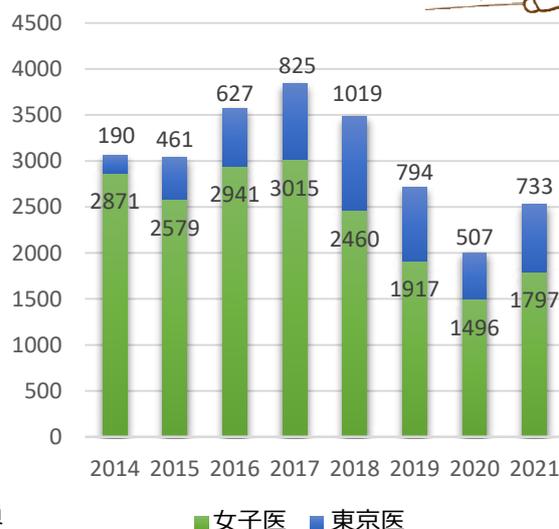
子育て支援を受けたい人（依頼会員）と
子育て支援をしたい人（提供会員）が会員登録をし、
コーディネーターが調整をする会員制の相互援助活動です



2021年度依頼会員263名の内訳



活動件数の推移



※女子医：女子医大、東京医：東京医大

※2021年度はCovid-19感染拡大防止のため予定していた「保育サービス講習会」「全体交流会」を中止いたしました。スキルアップ研修会はZoomで開催いたしました。

本学では院内保育所を設置し、教職員の勤務をサポートしています (人事課管轄)

院内保育所

2021年度保育所利用者延べ人数表

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
昼間保育	36	34	25	26	34	23	37	41	60	73	70	107	566
延長保育	3	3	2	1	2	1	4	3	1	1	1	3	25
夜間保育	3	2	2	2	4	2	2	4	2	2	2	4	31
休日保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病児保育	6	6	4	29	13	15	19	17	18	7	16	1	151

女性医師・研究者支援部門

女子中高生の理系進路選択支援プログラム

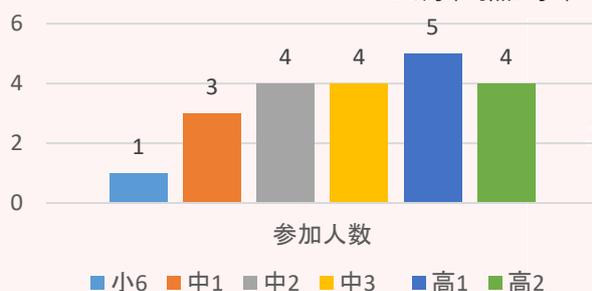
サイエンスカフェ 3/26 (土) オンライン開催

2021年3月26日 (土) 開催「サイエンスカフェ」プログラム

- 14:00 開会のあいさつ
女性医師・研究者支援部門長 臨床検査科 佐藤麻子教授
- 14:05 司会より本日の流れを説明
第1部 講師によるミニレクチャー
- 14:10～ 石津綾子先生 (解剖学 (顕微解剖学形態形成学分野))
- 14:25～ 福屋泰子先生 (皮膚科)
- 14:40～ 番場嘉子先生 (消化器・一般外科)
- 14:55～ 大武幸子先生 (糖尿病・代謝内科)
- 休憩
- 第2部 グループに分かれてのフリートーク
- 15:20～
- 16:00 閉会のあいさつ

参加者21名 学年別参加者の内訳

※3月末時点の学年



グループに分かれて
フリートークの様子

地域別参加者の割合

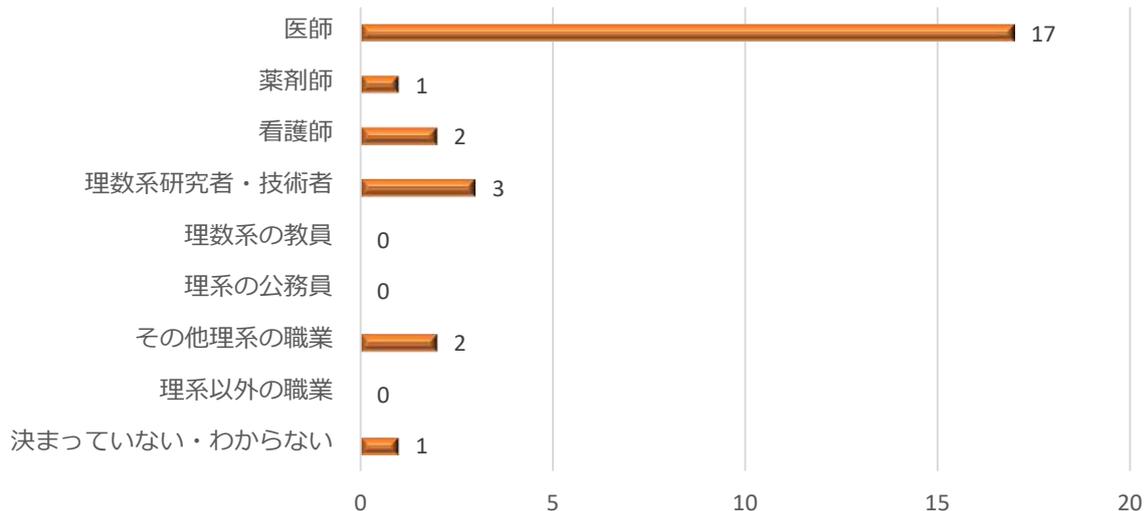


女性医師・研究者支援部門

サイエンスカフェ アンケート結果より

あなたが将来就きたいと思う職業は何ですか？

18件の回答（複数選択可）



講師の先生とのフリートークを行って、良かったと思ったこと

- ・ 医師にも幅広い働き方があり、複数の選択肢を選ぶことが出来るということが分かり、選択の幅が広がりました。
- ・ 様々な働き方があるということがわかり、選択肢を狭める必要はない、必ずしも一つに決めなくてもよいということがわかった。
- ・ 元来からの疑問や先生方のレクチャーを聞いた上での質問をさせていただき、不安や疑問が解消したと同時により強く医師になりたいと思えました。先生方も迷いながらも決断して今に至ることを知り、私も頑張らなくてはと思います。質問に答えてくださりありがとうございました！
- ・ 先生たちの経験から、アドバイスやお話をさせていただけたので、これから進路を決めるときに参考にさせていただきます。
- ・ 医療に関するだけでなく、家庭のことなど様々なことに親身になって答えてくださりました。
- ・ 意外な科に女性の先生が多くいらっしゃることを伺い、女性医師の可能性の大きさを知ることが出来て良かったです。ありがとうございました。



女性医療人キャリア形成センター

女性医師再研修部門



女性医師再研修部門



女性医師再研修部門は
相談者の出身大学を問わず、
「復職相談&再研修」を実施しています。

相談者の出身大学を問わず、全国から復職相談を受け付けており、キャリアカウンセリングや
オーダーメイドの研修を実施することで女性医師の復職支援活動を行っています。

(2022年6月現在、Covid-19感染拡大防止のため、病院での研修は中止しております)

研修・相談の流れ

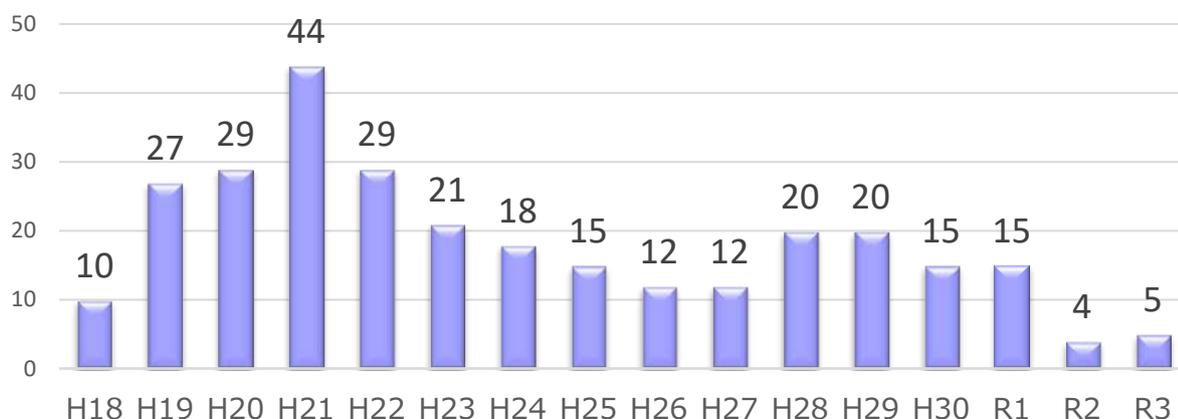


女性医師再研修部門

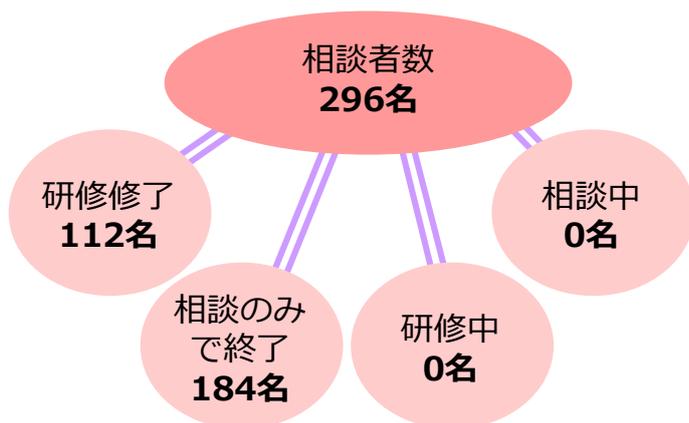
2021年度相談者状況(2022年3月末現在)

平成18(2006)年の設立以来、相談された方は296名となりました。
内訳は実際に研修をされた方が112名、研修を行わず働き方などを提案・紹介した方が50名、同じく研修を行わず相談のみで修了された方が127名となります。

相談者数の推移

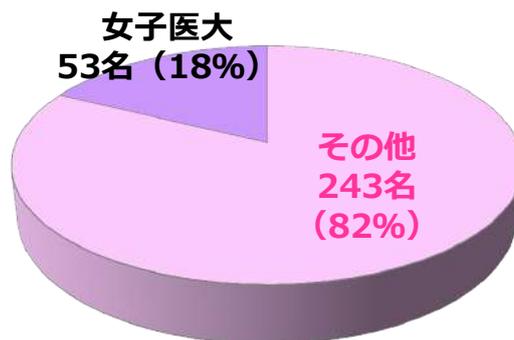


対応状況



※研修以外の提案を行ったケースも含む
(非常勤で勤務など)

出身大学

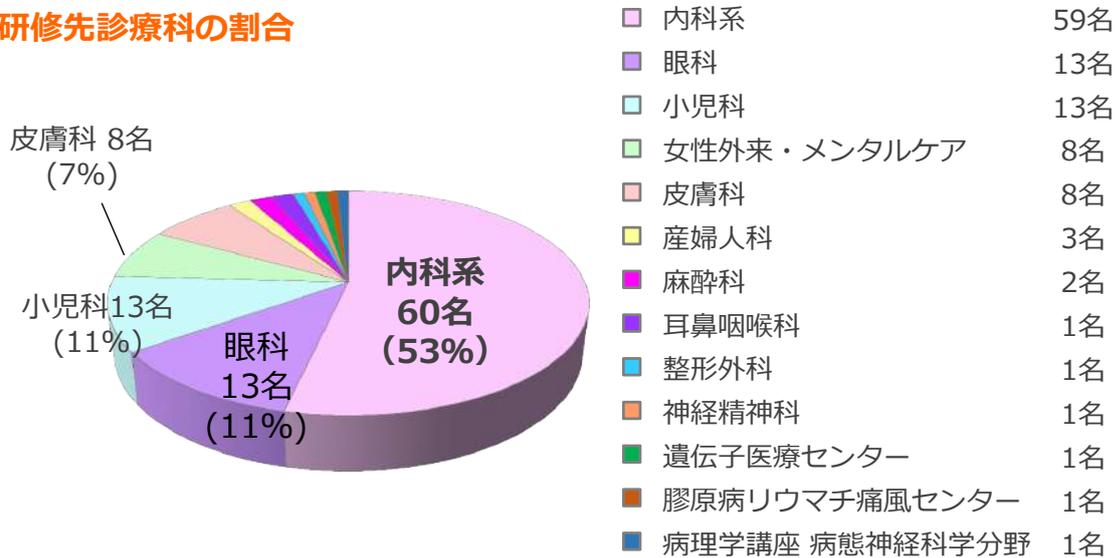


相談者の8割以上が「本学以外の卒業生」です



女性医師再研修部門

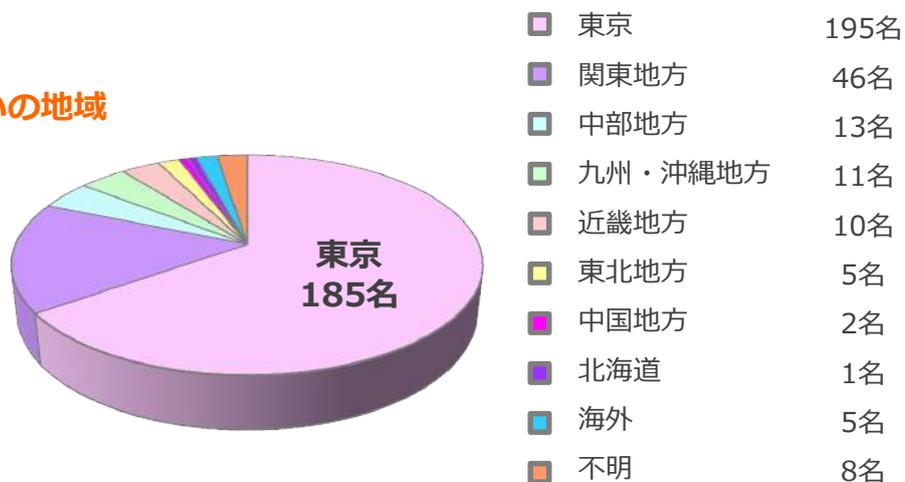
研修先診療科の割合



相談者の約8割が本学以外をご卒業された先生です。

令和2(2020)年度はCovid-19の影響により研修は中止となりましたが、メールやzoomを活用し、復職やキャリア相談に対応しました。

お住いの地域



女性医師再研修部門

相談・研修報告

2021年度はCovid-19の影響により、相談、研修ともに件数は大幅に減少いたしましたが、メールによる復職・キャリア相談の受け付けを継続し、zoomも活用しながら相談者へのアドバイスや今後の方向性に関する提案などを行いました。

相談者概要(2021年度)

	相談者	希望診療科	対応
1	50代前半 子供2人 非常勤勤務	電子カルテ 操作	【DVD案内】 本学に勤務予定であったため、電子カルテ操作に関するDVDを案内した。
2	30代前半 子供1人 非常勤勤務	整形外科	【Zoom面談実施】 非常勤勤務を続けており、現在の環境で「できていること」を一緒に確認。ご自身で将来の選択肢のイメージができていたため、またその時々々のタイミングで不安などがあれば連絡をいただくこととした。
3	40代後半 子供1人 離職中	眼科	【Zoom面談実施】 ご本人およびご家族の状況を確認し、状況が落ち着いてから改めて勤務等を検討するようアドバイスを行った。それまでの時間を使って学会や専門医取得等の情報検索も提案。タイミングを見て改めてご相談をいただくこととした。
4	30代後半 子供2人 非常勤勤務	総合内科	【Zoom面談実施】 ご実家の病院にて非常勤勤務をしており、お子様が小さいこと、また受験などもあり将来の方向性について相談。面談で状況を確認したところ「今できていること」がたくさんあったためそれを本人と一緒に確認し、お子様が大きくなるにつれ状況が変わるため、今は少し様子を見てどこを目指していくのかを考えていくようアドバイスを行った。また学習意欲が強かったため、テキストやweb動画などの情報をまとめてご紹介した。
5	40代後半 子供3人 非常勤勤務	皮膚科	【Zoom面談実施】 出産の際に産休・育休を取られた以外は非常勤勤務を継続。時間的制約などがある中でどのように勤務すればよいか悩み相談。本学皮膚科医師とZoom面談を行い、再研修部門を通さず直接皮膚科と相談の上、まずは見学を行うこととなった。

女性医師再研修部門

過去に研修をされた方の声(抜粋)

2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により病院での実地研修を中止しておりますが、過去に研修をされた皆様の声を一部ご紹介いたします。

40代・子供なし・製薬会社勤務

研修先：本院総合診療科
期 間：2019年1月12日～2019年3月31日
2019年6月1日～2019年8月31日

最初は不安でしたが、指導医の先生をはじめ、土曜日に外来担当の先生方には、電子カルテの操作方法のみならず、最新の治療法や、検査法についても大変丁寧にご教示いただきまして本当に勉強になりました。何より、非常に感銘を受けたのは、総合診療科の活発なdiscussionが自由にできる雰囲気でした。今後は少しずつではありますが、臨床に復帰し、研修させていただいたことを生かして診療に従事していきたいと思っております。

30代・子供2人・製薬会社勤務

研修先：東京都立北療育医療センター
期 間：2019年7月8日～2019年7月12日

今後の進路についてのご相談にも親身に乘ってくださり、(女性医療人キャリア形成センターでの面談でも感じたことですが) 見ず知らずの私のことを本当に気にかけてくださって、感謝の気持ちでいっぱいになりました。1週間の予定とはわかっていたことでしたが、研修は毎日がとても充実していて、最終日には研修が終わってしまうのがとても悲しく、もっともっと研修していたかったと思いました。まず今回の研修で教えていただいたことを参考にしながら神経内科の学びを深めていきたいと思っております。

50代・子供なし
・米国大学Associate Professor

研修先：本院総合診療科
期 間：2019年7月11日～2019年8月10日

総合診療内科では女性医師再研修プログラムで研修を積まれた先生方々ともお話しする機会があり、それぞれ異なる理由で臨床の場を離れた後に復帰を後押ししているこのプログラムの意義を改めて認識いたしました。私は東京女子医大出身でもありませんし、こちらに再就職するのでもありませんのに、社会への還元というこのプロジェクトの恩恵を感じざるを得ません。今後、個々のニーズに合うフレキシブルなこのプログラムの意義はさらに高くなるのではないのでしょうか。

40代・子供2人
・無職(シンガポールより帰国)

研修先：本院脳神経内科
期 間：2019年7月2日～2019年10月30日

復職にあたっては、知識や手技を再確認させていただくことができたことで精神的なストレスも少なかったのではないかと思います。ブランクが長いと復職後どうしても周囲の先生方に助けていただくことが多くなります。研修させていただいたことで自分で自信をもって行えることが増え、周囲の先生にご迷惑をかけてしまうという精神的な負担を少し軽減できたと思っております。

40代・子供2人
・非常勤勤務(婦人科・内科)

研修先：成人医学センター
期 間：2019年8月20日～2019年11月15日

面談では、私の不安を聞いていただき、私に必要な研修を導いてくださり、週1回の外来見学という形で研修を行いました。成人医学センターでは、さまざまな科で先生方の外来診療を見学し、診断・治療について勉強させていただきました。先生方には外来でお忙しい中質問にも丁寧に答えてくださり、最近の知見なども教えていただき、疑問に思っていたことが研修を受けるごとに解消されていき、自信につながりました。また、先生方の患者さんとのコミュニケーションの取り方を拝見し、信頼される医療の大切さを改めて感じました。



女性医療人キャリア形成センター

看護職キャリア開発支援部門



看護職キャリア開発支援部門



看護職のキャリア開発と勤務継続を支援するために、看護部、看護学部、看護専門学校が協働して、看護職のキャリア支援システムの構築を目指して5つのプロジェクトで活動しています。院内教育や各種委員会活動と連携しながら看護職者のニーズをキャッチし、一人ひとりの看護職者が生涯成長し続けるために役立つ内容を盛り込んだ活動をおこなっています。

キャリア・メンタルヘルス相談プロジェクト

キャリアカウンセリング

キャリアカウンセラーがキャリア上の問題を一緒に考えたり、キャリア開発の支援を行っています。

令和2(2020)年度実績

◆キャリアカウンセリング申込数 2件



メンタルヘルスカウンセリング

本人のみならず、不調を支える側のカウンセリングも実施しています。

令和2(2020)年度実績

◆メンタルヘルスカウンセリング 263名(879回)

◆メンタルヘルスの不調な看護師を支援する看護職者の相談 238名(347回)

「看護職者の職業ストレスと職務意欲に関する調査」(業務の一環として実施)

- ・2021年12月に本院と八千代医療センターの看護職者に実施。1,332名より回答。(回答率87.6%)
- ・調査項目：心理的ストレス反応、身体症状、職場のストレス、心理的安全性、勤務継続意思、職務満足
- ・結果：各施設の看護部長と共有のうえ、職場ごとにフィードバックした。
- ・2022～2023年度にかけて、足立医療センターも含めて継続して調査予定。

看護職キャリア開発支援部門

自己学習支援プロジェクト

看護専門領域スキルアップ研修

専門領域における知識や技術を深め、日々の看護実践能力を向上します。

ZoomやYouTube研修を導入し、大幅に受講者が増加しました。令和4(2022)年度も引き続きZoomやYouTubeを活用しつつ、状況を見て対面研修との併用も検討していきます。

令和2(2020)年度実績

- ◆全19領域、45研修を実施
- ◆年間のべ1,205名が研修参加 (YouTube研修により受講者増)



変革推進力育成プロジェクト

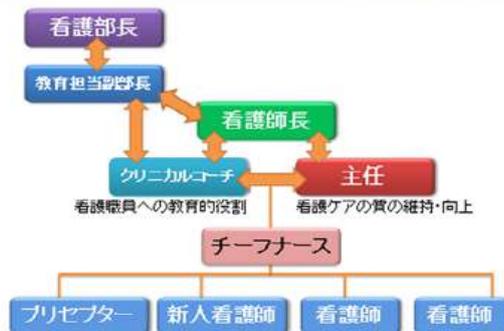
クリニカルコーチ育成研修

クリニカルコーチは、部署において看護師長や主任と連携しながら教育的役割を担い、看護職者や看護学生を支援しています。

令和3(2021)年度実績

- ◆第8期研修は見送ることが決定
- ◆9/29に東邦大学看護学部、東京女子医科大学非常勤講師の原三紀子先生によるワークショップ「私たちの強みと知の創造を育みあうポートフォリオ」を開催しました。(Zoom)

クリニカルコーチの位置づけ



看護職キャリア開発支援部門

師長の変革推進能力向上支援

看護師長のキャリアアップと変革推進力を高めるための支援を行っています。



令和2(2020)年度実績

◆3/26(土)に看護師長の変革推進能力向上支援研修として、埼玉大学経済経営系大学院の宇田川元一准教授による「組織変革のための対話とは ~第2弾~」を開催(Zoom)し、47名が参加しました。

看護研究推進プロジェクト

看護部門と看護基礎教育機関(看護学部・看護専門学校)による研究活動の連携を推進し、看護の実践、教育、研究の質の向上を図っています。

研究動向や新たな研究手法などのセミナー

Covid-19の影響により1/22(土)開催予定であった事例研究セミナーは延期となったため、2022年度の開催を改めて検討する。

「研究支援者ピアサポートの会」開催

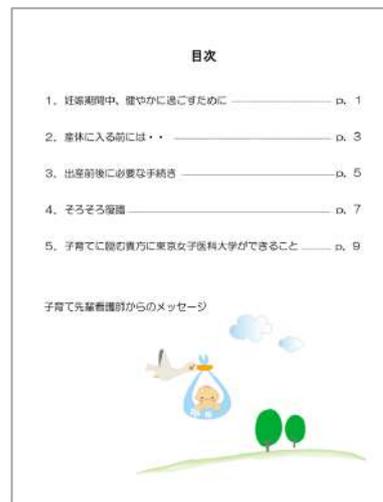
2021年度は3回実施し、支援者はのべ35名、看護学部教員はのべ7名が参加した。個人的な研究相談などの意見交換や研究計画についての相談と助言など内容も様々で、実際に参加者は相談後に論文作成や研究を進めている。

看護職キャリア開発支援部門

はたらき方支援プロジェクト

ライフイベント支援

妊娠・出産という女性にとって大きなライフイベントを迎えた方を対象に、ガイドブック「新しい家族を迎えるにあたって～ワーキングママ&パパを応援する本～」を配布しています。学内での様々な制度や手続き、また先輩子育て看護師からのメッセージも掲載されています。



キャリア支援制度

休職をしないで育児、進学、介護と日常の看護業務を両立できる制度や、国外研修のための休職制度、さらにキャリアアップのための「在籍したまま進学できる制度」を設けています。

① 看護職キャリア
継続支援のための
短時間勤務

休職はせずに
「育児」「介護」
「進学」等をしたい！
日常の看護業務と
両立したい！

② 看護職
国外研修休職

海外語学・看護研修、
ワーキングホリデーで
キャリア形成したい！

③ 看護職進学休職

在籍したまま進学したい！
業務に必要な資格取得や
看護知識・技術の
ブラッシュアップをしたい！

看護職キャリア開発支援部門

認定看護管理者教育課程ファーストレベル

閉講のお知らせ

本学では2015年度より認定看護管理者教育課程ファーストレベルを開講しておりましたが、この度諸般の事情により2021年度をもちまして閉講することが決定いたしました。

関係者の皆さまにおかれましては、開講期間中に多大なるご高配を賜りましたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

令和3年9月吉日

各位

東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
センター長 肥塚 直美
看護職キャリア開発支援部門
部門長 白石 和子

認定看護管理者教育課程ファーストレベル 閉講のお知らせ

拝啓 残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学では平成27(2015)年度より認定看護管理者教育課程ファーストレベルを開講しておりましたが、この度諸般の事情により、令和3(2021)年度をもちまして閉講することが決定いたしました。

関係者の皆さまにおかれましては、開講期間中に多大なるご高配を賜りましたこと、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。また、本学でのファーストレベルを修了されご活躍されている皆様、本学での受講を楽しみにされていた皆様にはこのようなお知らせとなりましたことを深くお詫び申し上げます。

今後、本学の環境等が整いました際には、改めて開講することも視野に入れ検討していきたいと考えております。

当看護職キャリア開発支援部門では今後も看護職のキャリア形成やスキルアップ等様々な支援を行ってまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、皆様の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

敬具

東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
看護職キャリア開発支援部門



女性医療人キャリア形成センター

ダイバーシティ 環境整備事業推進室



ダイバーシティ環境整備事業推進室



平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されました。
各部門と連携し、3つの柱を基盤として様々な取り組みを行っています。

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 特命含 30% 准教授 特命含 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 学生サポーター育成 介護支援制度の利用開始
プロセス	①プラスファクター方式導入 ②特命担当教授新設 ③教員評価制度見直し ④所属長意識改革	①メディアラボ運営 ②ピアラーニング実施 ③キャリア形成個別支援 ④各種セミナー・講演会 ⑤研究支援員制度	①勤務環境改善 ②育児支援発展 ③介護支援創設
ストラクチャー	学長・副学長 理事長・センター長会議 学部長会議、リーダー育成部門	女性医療人リーダー育成 部門(旧彌生塾) 図書館	女性医師研究者 支援部門、病院

全国ダイバーシティネットワークへの参加

令和3(2021)年12月8日にオンラインにて開催された第4回全国ダイバーシティネットワークシンポジウム「今こそダイバーシティネットワークで輝く未来を切り拓く」にて、本学の取組「勤務環境改善プロジェクト、女性医師復職支援、看護研究推進プロジェクト」について、ダイバーシティ環境整備事業推進室 本多祥子室長(解剖学(神経分子形態学分野)准教授)が講演を行いました。



ダイバーシティ環境整備事業推進室

大分類	項目	平成28 (2016)年度	平成29 (2017)年度	平成30 (2018)年度	令和1 (2019)年度	令和2 (2020)年度	令和3 (2021)年度	
上位職登用	プラスファクター	→						
	特命担当教授	→						
	規程作成・承認	→						
	任命		→					
	女性科開設 (現：女性センター)		→					
	教員評価見直し	→						
	評価項目作成・修正		→					
	システム導入・試行			→				
	ダイバーシティ講習会	→						
	研究力向上	キャリア形成の個別支援	→					
講演会・セミナー		→						
ピアラーニング		→						
情報交換会		→						
教授との座談会			→					
eラーニング配信		→						
研究支援員制度				→				
勤務環境改善	勤務環境改善	→						
	事務効率化	→						
	医局座談会		→					
	育児支援	→						
	学生サポーター講習会		→					
	院内保育所連携			→				
	介護支援	→						
	パンフレット作成・配布	→						
	相談窓口		→					

平成28(2016)年度に採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」は令和3(2021)年度にて事業最終年度を迎えました。

この度、令和3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、特色型のフレームに先端的取組を追加した「グローバルヘルスリーダーの育成と更なる女性登用『YAYOIプロジェクト』」を発足いたしました。今後も引き続き女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進してまいります。

(「先端型」については、P.38～43をご覧ください)

ダイバーシティ環境整備事業推進室

上位職への積極登用

教授就任

女性医療人リーダー育成部門やダイバーシティ環境整備事業推進室の取り組みもあり、令和3(2021)年度は新たに2名の女性教授が誕生しました。

特命担当教授の任命

女性教員の上昇志向をさらに高め、上位職登用候補者であることを学内外に示すために特命担当教授を任命しています。

教員評価制度見直し

女性リーダー育成やダイバーシティ事業への協力度を評価項目に取り入れるため、評価制度の見直しを行っています。

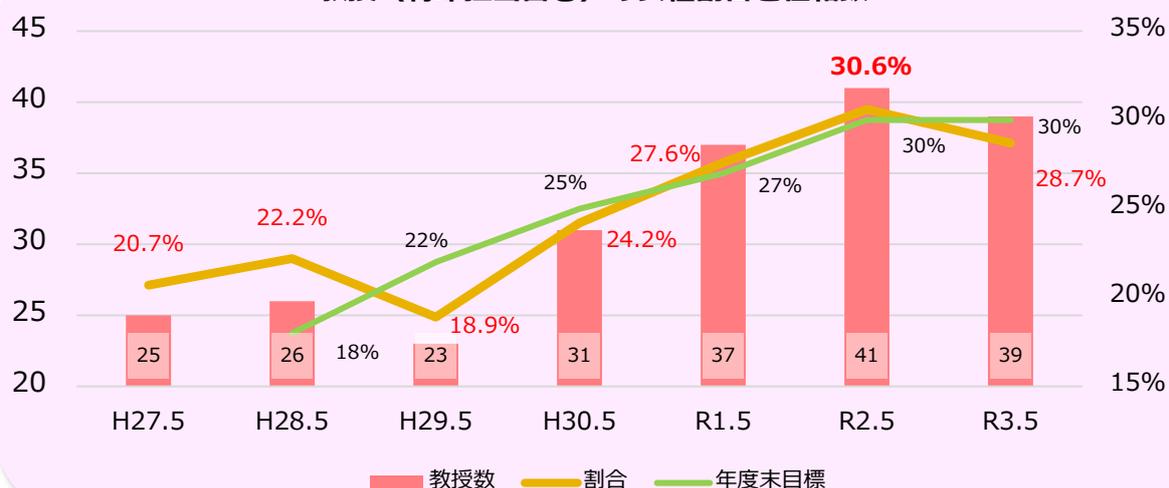
FDの実施

女性上位職登用に対する意識改革を促す目的で教授を対象にセミナーを実施しています。

各年度の教授在籍数と女性教授割合

	女性教授割合	女性教授数	男性教授数	合計
平成27(2015)年5月	20.7%	25	96	121
平成28(2016)年5月	22.2%	26	91	117
平成29(2017)年5月	18.9%	23	99	122
平成30(2018)年5月	24.2%	31	97	128
令和1(2019)年5月	27.6%	37	97	134
令和2(2020)年5月	30.6%	41	93	134
令和3(2021)年5月	28.7%	39	97	136

教授（特命担当含む）の女性割合と在籍数



ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

●eラーニングコンテンツの作成（YouTube限定公開） → P.46

●研究支援員制度（女性医師・研究者支援部門） → P.17

●各種セミナー・講演会・ピアラーニング（女性医療人リーダー育成部門） → P.11～13

勤務環境の改善

女性研究者が在籍する部局の勤務環境の改善

平成29(2017)年度から各科の医局単位で個別に勤務環境改善施策を実施しています。
令和3(2021)年度は、歯科口腔外科を対象とし、改善取組に対して推進室が適宜支援を行っています。

	診療科	参加医師メンバー	実施したプロジェクト
H29	脳神経内科	女性4名	退院時サマリの作成を効率化し 研修医、指導医双方の負担軽減
	乳腺 内分泌外科	男性1名 女性4名	人材育成のガイドライン作成、 互いを尊重しチームで動ける組織風土の醸成
H30	眼科	男性2名 女性4名	外来診療効率化・年次有給休暇の自由取得・ 土曜外来診療の負担軽減
	形成外科	女性4名	外来・病棟・手術・医局業務マニュアル作成、 導入による若手医師指導の効率化
R1	皮膚科	男性2名 女性4名	医師の昼休憩時間確保に向けた取り組み
R2	整形外科	男性1名 女性2名	COVID-19感染拡大下での 新入医局員勧誘方法の検討
	神経精神科	男性1名 女性4名	COVID-19感染防止のための勤務環境整備
R3	歯科口腔外科	男性3名 女性3名	歯科口腔外科における若手医局員参加型の 勤務体制の合理化

介護支援制度

令和1(2019)年度に介護ニーズを調査する為に実施したWebアンケート結果を論文化、「学校法人東京女子医科大学教職員における介護の現状と課題：介護に関するアンケート調査結果から」として東京女子医大雑誌 91(4)205-218.に掲載、J-STAGEで公開されました。今後は「先端型」にて「介護見守り支援」をはじめ、更なる取組を行います。

育児支援の充実（女性医師・研究者支援部門） → P.18

令和3(2021)年12月15日にオンラインにて開催されたJSPS男女共同参画推進シンポジウム「研究とライフイベントの両立へのヒントがここに！」にて、本学の育児支援について、女性医師・研究者支援部門 野原理子副部門長(衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)教授・基幹分野長)が発表を行いました。今後は「先端型」でも補助制度の新設など、保育制度の整備を行います。



ダイバーシティ環境整備事業推進室

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用

『YAYOIプロジェクト』

Your Attention to Your Own Innovation !



学祖 吉岡彌生(やよい)先生

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業最終年度と並行し、本学は同「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択されました。「特色型」での取組は自主的に行われていることを前提として更に高い目標を掲げるとともに、女性研究者の活躍促進を踏まえたより広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組を進めていく機関として選定されました。

「特色型」のフレームに先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標といたします。

- 女性在职比率：教授30%、准教授35%、講師40%
- 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- 介護支援の充実をはかる

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会・交流会	①架け橋研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者枠)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業推進室、女性医療人リーダー育成部門、女性医師研究者支援部門 理事長・学長・ 常務理事会議、理事会、 教授会	研究戦略会議、国際交流委員会、 研究科委員会 先端生命研究所 メディカルAIセンター	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持		目標2 介護支援制度利用者比率0.6%
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に 国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

ダイバーシティ環境整備事業推進室

「YAYOIプロジェクト」キックオフミーティング開催

令和3(2021)年12月4日(土)オンラインにて「YAYOIプロジェクトキックオフミーティング」が行われました。当日の様子はQRコードよりYouTubeにてご覧いただけます。

-プログラム-

Your Attention to Your Own Innovation !

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) 「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング

日 時: 2021年12月4日(土)当日収録、後日オンライン配信
収録場所: 彌生記念教育棟 104会議室
開 始: 14:00~16:30
総合司会: 齋藤 加代子
〔女性医療人キャリア形成センター副センター長、ゲノム診療科特任教授〕

【挨拶】
岩本 絹子 理事長
丸 義明 学長

【開会の挨拶】
肥塚 直美〔産科理事、女性医療人キャリア形成センター長〕

【特別講演】 座長: 肥塚 直美
演 者: 山村 康子 先生〔国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管(PO)〕
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの今後の動向

【ダイバーシティ(先端型) 事業紹介】 座長: 本多 洋子
演 者: 本多 洋子〔ダイバーシティ(先端型)推進事業推進部長、特任学頭(特任分子若者学分子特任教授)〕
グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」
演 者: 清水 達也〔先端生命医科学研究所 准員・教授〕
異分野融合研究の推進と「創け構研究支援」への期待
演 者: 杉下 智彦〔国際交流委員会 委員長、国際医療・医療工学 教授・基幹分野長〕
クロスリアイを応用した21世紀型の国際交流への期待
演 者: 村越 善徳〔先端生命医科学研究所 教授〕
併健医療分野でのAI活用とAI研究スタートアップ支援への期待

【閉会の挨拶】
石黒 真子 医学部長〔女性医師専任専任助産師、産科学講座准教授(産科分科長)〕

令和3年度女子大学科学技術人材育成推進事業
「YAYOIプロジェクト」研究環境実現イニシアティブ(先端型)



<https://youtu.be/TUvLaPm9nxI>

上位職への積極登用

- 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- 学長指名推薦による女性教授登用
- オープンイノベーション講演会・交流会の実施

医・工・理の異分野連携、異業種連携の場として、第1回オープンイノベーション講演会を令和4(2022)年1月24日オンラインにて行いました。小林真里先生(東京農工大学卓越リーダー養成機構特任准教授)、高橋政代先生(株式会社ビジョンケア代表取締役社長、眼科医)にご講演いただき、パネルディスカッションでは女性研究者としての体験談、異分野融合の意義などについて貴重なご意見を伺うことができました。



ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。令和3(2021)年度は「架け橋研究支援制度」を創設、4名の女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援しました。

関谷佐智子 助教
先端生命医科学研究所

「生体外ヒト腎障害モデルに向けた
腎オルガノイドの血管機能化」



生体外ヒト腎障害
モデルに向けた
腎オルガノイドの
血管機能化

先端生命医科学研究所
関谷佐智子



青木信奈子 助教
先端生命医科学研究所

「医工連携によるヒト心筋組織の構造・
機能に対する血管新生抑制性制御の検証」



医工連携によるヒト心筋組織の構造・機能に対する
血管新生抑制性制御の検証

東京女子医科大学
先端生命医科学研究所
青木 信奈子



番場嘉子 准講師
外科学講座 (下部消化管外科学分野)

「手術室での複合現実-画像の投影と
手術環境の情報共有による手術支援-」



手術室での複合現実
画像の投影と手術環境の情報共有による手術支援

番場嘉子
東京女子医大 消化器・一般外科



金谷萌子 助教
生理学講座 (神経生理学)

「機械学習を活用した
痛み行動評価系の確立」



機械学習を活用した
痛み行動評価系の確立

東京女子医科大学
生理学 (神経生理学)

金谷 萌子

※採択時の職位・所属を記載

ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援します。令和3(2021)年度は「国際共同研究支援制度」を創設、3名の女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援しました。

石津綾子 教授・基幹分野長
解剖学講座（顕微解剖学・形態形成学）

「単一造血幹細胞における
サイトカイン応答性解析」

「Single cell based analysis of
hematopoietic stem cell response to
cytokine signaling」



シンガポール
国立大学との
共同研究



河村（中山）寿子 助教
生理学講座（神経生理学）

「ストレスによる視床神経回路の改編」

「Stress-induced remodeling of
neuronal circuits in the sensory
thalamus」



コレージュ・
ド・フランス,
INSERM,
パリ文理研究大学
との共同研究



凧幸世 助教
国際環境・熱帯医学講座（国際環境・熱帯医学分野）

「アフリカ辺境地域における栄養不良の
原因とリスク要因の解明」

「Determining the causes and risk
factors of malnutrition in marginal
areas of Africa」



ケニア中央医学
研究所、ケニア
保健局、マウン
トケニア大学、
長崎大学等との
共同研究



「英語論文掲載料補助制度」の新設

国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料の補助を行う制度を設立しました。

国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

海外との共同研究を活性化するためにデジタル環境の整備を進めています。



←MPUF XRCC（XR Conference Cloud）を使用してハーバード大学と本学 長坂安子教授・基幹分野長を中心とする麻酔科による国際共同研究キックオフミーティングを実施

アバターロボット（temi）を使用してシンガポール国立大学の研究者が本学 石津綾子教授・基幹分野長の案内で解剖学（顕微解剖学・形態形成学）のラボを見学→



※採択時の職位・所属を記載

ダイバーシティ環境整備事業推進室

研究力の向上

保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援します。令和3(2021)年度は「AI研究スタートアップ支援制度」を創設、3名の女性研究者を『AI研究スタートアップ支援金』により支援しました。

岩下華子 准講師
国際環境・熱帯医学講座 (国際環境・熱帯医学分野)

「ノーコードディープラーニングを活用したケニアにおける住民参加型マラリア媒介蚊対策」

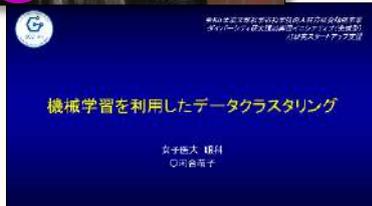


ノーコードディープラーニングを活用したケニアにおける住民参加型マラリア媒介蚊対策
Citizen science for monitoring of malaria vectors in villages along Lake Victoria, Kenya

衛生学公衆衛生学講座公衆衛生学分野
グローバルヘルス部門
申請者：岩下華子、共同研究者：森田岳
Hanako Iwashita, Gaku Masuda

河合萌子 助教
眼科学講座 (眼科学分野)

「機械学習を利用したデータクラスタリング」



熊坂綾乃 看護師
看護部

「Artificial intelligence(AI)を用いた
ストーママネージメント
支援ツールの開発」



「Artificial intelligence (AI)を用いたストーママネージメント支援ツールの開発」
研究成果報告

「AI講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外のAI講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助する制度を設立しました。

「AIインターンシップ制度」の構築

保健医療分野におけるAI研究を活性化するプロジェクトとして、希望者がAI医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べるAIインターンシップ制度を構築しました。

第1回アノテーション演習会



第1回医療・ヘルスケアAI講演会



※採択時の職位・所属を記載

ダイバーシティ環境整備事業推進室

勤務環境の改善

育児および介護の現状・ニーズ調査の実施

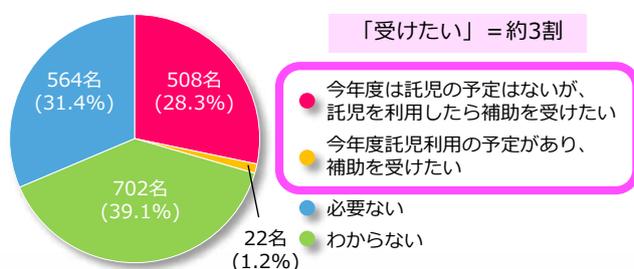
令和3(2021)年12月に、全教職員を対象とした育児および介護の現状・ニーズ調査として「育児・介護に関するアンケート調査」を実施しました。

[回答期間]令和3(2021)年12月15日～令和4(2022)年1月5日

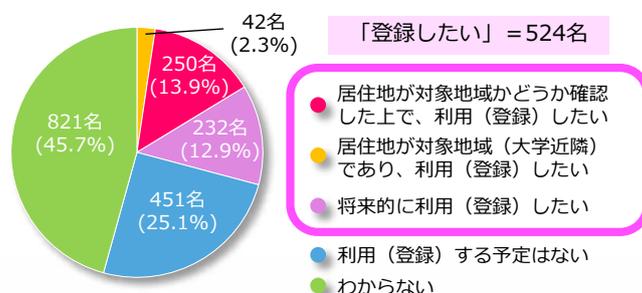
[有効回答数]1,796名/6,082名

[回収率] 29.6%

Q. 学会参加時に託児を利用した場合に託児費の補助を受けたいですか。



Q. 介護見守り支援が導入された場合、利用（登録）したいと思いますか？



学会参加時の託児費補助制度の新設

学会など（オンラインを含む）に参加する育児中の女性研究者が、託児サービスを利用する際、その費用を一部または全額補助する制度を設立しました。

保育制度の整備

院内保育所のICT環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供します。また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を開始しました。状況に応じた保育の提供を検討していきます。



実践的介護支援体制の構築

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」のノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年度より新設します。本年度は新設に向けて、事業説明会・介護講習会・介護実習を実施し、提供会員6名が誕生しました。



研究支援員制度における対象者範囲の拡大

女性研究者に加え、育児中または介護中の男性研究者1名の支援枠を新たに設けました。令和4(2022)年度より募集・支援を開始します。研究支援員制度の詳細は、P.17をご覧ください。



女性医療人キャリア形成センター

YouTube(e-ラーニング)



YouTube(e-ラーニング)

女性医療人キャリア形成センターではYouTubeを活用し、研究力向上やキャリア形成支援などを目的としたさまざまなセミナーや講演会を提供しております。

2021年度実績

	公開月	シリーズ	タイトル	視聴回数
1	2021年 5月	ダイバーシティ 環境整備事業	2020ダイバーシティ環境整備事業報告 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長 解剖学(神経分子形態学分野) 准教授 本多 祥子 先生	20
2	"	医療安全	有害事象から学ぶ～Quick SAFER分析手法～ 医療安全・危機管理部 部長 加藤 多津子 先生 医療対話推進室 宮崎 歌津枝 師長	41
3	6月	研究力向上 セミナー	臨床研究初学者のための統計の基本 ※再公開 ～医療系データの分析入門編～2020 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島 教照 先生	60
4	"	看護職の 取り組み	第40回日本看護科学学会学術集会交流集会 臨床と教育のコラボレーションによる看護職のキャリアの支援 ～これまでの10年に続くこれからの10年に向けて～	21
5	7月	医療安全	患者安全とチーム医療 医療安全・危機管理部 部長 加藤 多津子 先生	29
6	"	科研費申請	科学研究費申請説明会(2020年8月開催のセミナー) 審査員から見た採択したい科研費申請書の書き方 実験動物研究所 所長・教授 本田 浩章 先生	25
7	10月	看護職の 取り組み	3施設クリニカルコーチ特別ワークショップ 「私たちの強みと知の創造を育み合うポートフォリオ」 東邦大学 看護学部 教授 原 三紀子 先生	252
8	"	英語論文 セミナー	①Presentations ②Oral communication ③Writing 静岡県立大学 薬学部薬学科(科学英語分野) 准教授 Philip Hawke 先生	96
9	11月	リーダーシップ セミナー	リーダーに求められるストレス対処の処方箋 神経精神科 准教授 赤穂 理絵 先生	35
10	"	研究力向上 セミナー	統計学「多変量解析の基礎 ～臨床研究への活用～」 東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島 教照 先生	52
11	2022年 1月	ダイバーシティ 環境整備事業	YAYOIプロジェクトキックオフミーティング 【特別講演】国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管(PO) 山村 康子 先生	33
12	2月	リーダーシップ セミナー	チームコンサルテーション(多職種協働) 神経精神科 准教授 赤穂 理絵 先生	-



女性医療人キャリア形成センター

活動報告・業績一覧等



活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2021年 4月15日	女性医師再研修部門定例会			★		
4月21日	第1回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
4月26日	第55回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
5月12日	第2回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
5月18日	第56回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
5月25日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
6月16日	第3回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
6月26日	女性医師・研究者シンポジウム2021 ビデオ録画オンライン配信		★			
6月28日	第57回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
7月20日	第58回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
7月21日	第4回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
7月27日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
8月11日	認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会 (オンライン)				★	
8月27日	第59回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
9月1日	第5回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	ファミサポ通信27号発行		★			
9月14日	第30回女性医師・研究者支援部門運営委員会開催 (オンライン)		★			
9月27日	令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」選定	★	★	★	★	★
	第60回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
9月28日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
9月29日	クリニカルコーチ特別ワークショップ「私たちの強みと知の創造を育み合うポートフォリオ」開催(オンライン)				★	

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
10月22日	第61回ダイバーシティ担当推進者会議	★	★	★	★	★
10月25日	「キャリアアップのための英語セミナー」限定公開(静岡県立大学 薬学部薬学科(科学英語分野)准教授 Philip Hawke先生)	★				★
10月26日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
11月5日	「リーダーに求められるストレス対処の処方箋」限定公開(東京女子医科大学 精神医学講座 精神医学分野 准教授 赤穂理絵先生)	★				★
11月8日	令和3年度「研究支援員制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」公募開始					
11月10日	第6回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
	ファミリーサポート運営委員会		★			
11月15日	令和3年度「学会参加時等の託児費補助制度」受付開始					★
11月16日	ファミリーサポートスキルアップ研修会開催(オンライン)		★			
11月24日	ブラウン大学とのアバターロボット実証実験					★
11月25日	アラバマ大学とのアバターロボット実証実験					★
	令和3年度「英語論文掲載料補助制度」受付開始					★
	令和3年度「AI講習会、研修会参加費補助制度」受付開始					★
11月29日	ダイバーシティ担当推進者会議(特色型 第62回/先端型 第1回)	★	★	★	★	★
12月1日	第7回ファミリーサポート調整会議開催(オンライン)		★			
12月4日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)「YAYOIプロジェクト」キックオフミーティング開催	★	★	★	★	★
12月6日	令和3年度「研究支援制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」面接審査					★
12月15日	育児・介護に関するアンケート調査実施(全教職員対象)		★			★
12月16日	「統計学セミナー：多変量解析の基礎～臨床研究への活用～」限定公開(東京医科大学 公衆衛生学分野 講師 福島教照先生)	★				★
12月21日	ダイバーシティ担当推進者会議(特色型 第63回/先端型 第2回)	★	★	★	★	★

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
12月24日	令和3年度「研究支援員制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」授与式					★
12月28日	令和3年度「研究支援員制度(架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ支援)」授与式					★
2022年 1月4日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
1月18日	「リーダーシップセミナー」オンライン開催(東京女子医科大学 医学部長 石黒直子先生)	★				★
	「2022年度研究支援員制度」審査会開催(オンライン)		★			
1月19日	第8回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
1月24日	第1回オープンイノベーション講演会(オンライン)					★
1月25日	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)HP公開	★	★	★	★	★
1月26日	「YAYOIプロジェクト」キックオフミーティング動画公開	★	★	★	★	★
1月27日	アバターロボットを使用したシンガポール国立大学による本学ラボ視察					★
1月28日	ダイバーシティ担当推進者会議(特色型 第64回/先端型 第3回)	★	★	★	★	★
	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護事業説明会					★
2月7日	第1回医療・ヘルスケアAI講演会(オンライン)					★
2月8日	第31回女性医師・研究者支援部門運営委員会(オンライン)		★			
2月9日	第9回ファミリーサポート調整会議(オンライン)		★			
2月11日	デジタルプラットフォームを使用したハーバード大学との研究ミーティング					★
2月14日	第1回アノテーション演習会(オンライン)					★
2月18日	ダイバーシティ担当推進者会議(特色型 第65回/先端型 第4回)	★	★	★	★	★
	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護実習					★
2月22日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	

活動報告

リ・・・女性医療人リーダー育成部門 支・・・女性医師・研究者支援部
 再・・・女性医師再研修部門 看・・・看護職キャリア開発支援部門
 ダ・・・ダイバーシティ環境整備事業推進室

日付	内容	リ	支	再	看	ダ
2月25日	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護実習					★
	第5回e-ラーニングプロジェクトチーム会議(オンライン)	★	★	★	★	★
	第5回女性医療人リーダー育成部門運営委員会(オンライン)	★				
3月2日	第10回ファミリーサポート調整会議開催(オンライン)		★			
3月15日	看護職キャリア開発支援部門運営委員会(オンライン)				★	
3月18日	第17回女性医療人キャリア形成センター運営委員会	★	★	★	★	★
3月23日	ダイバーシティ担当推進者会議(特色型 第66回/先端型 第5回)	★	★	★	★	★
3月26日	2021年度 女子中高生の理系進路選択プログラム「サイエンスカフェ」オンライン開催		★			
	看護師長の変革推進能力向上支援研修「組織変革のための対話とは～第2弾～」開催(オンライン)				★	
3月31日	令和3年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」活動報告書発行	★	★	★	★	★

業績一覧

【支援を受けた女性医師・研究者の業績一覧です】

学会発表

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
中山寿子,宮田麻理子	一般講演	ポスター	第44回日本神経科学大会 /第1回 CJK 国際会議	Postsynaptic activity dependence of selective strengthening and an establishment of mono-innervation at whisker-related afferents to thalamic neuronal synapses	ハイブリッド	2021/7/28-31
番場嘉子,小川真平,相原永子,谷公孝,中川了輔,腰野蔵人,近藤宏佳,大木岳志,井上雄志,板橋道朗,亀岡信悟,岡本高宏,山口茂樹,山本雅一	サージカルフォーラム	口演	第121日本外科学会	外科医が自ら作成するAI解析による大腸癌診療システムとナビゲーション手術	Web	Apr-21
堀沙耶香, 三谷昌平		ポスター	第92回日本動物学会オンライン米子大会	フォークヘッドボックス転写因子は強度依存性感覚処理回路のシナプス前特異性とシナプス伝達効率を決定する	オンライン会議	2021/9/3
Sayaka Hori, Shohei Mitani		ポスター	23rd International C. elegans Conference	Contribution of a FOXD3/4 ortholog to optimization of avoidance behavior mediated by pre- and postsynaptic gene expression for a biphasic calcium response	オンライン会議	2021/6/23
番場嘉子,小川真平,相原永子,前田文,谷公孝,中川了輔,腰野蔵人,近藤宏佳,金子由香,大木岳志,井上雄志,板橋道朗,亀岡信悟,岡本高宏,山口茂樹	一般口演	口演	第34回日本内視鏡外科学会	人工知能AIを用いた医療安全とナビゲーション外科手術		2021.12.4
番場嘉子,小川真平,相原永子,前田文,谷公孝,中川了輔,腰野蔵人,近藤宏佳,金子由香,大木岳志,井上雄志,板橋道朗,亀岡信悟,岡本高宏,山口茂樹	特別企画	口演	第82回日本臨床外科学会	周術期データの解析とAIナビゲーション手術の実現		2021.11

業績一覧

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
番場嘉子,小川真平, 相原永子,前田文, 谷公孝,中川了輔, 腰野蔵人,近藤宏佳, 金子由香,大木岳志, 井上雄志,板橋道朗, 亀岡信悟,岡本高宏, 山口茂樹		デジタル ポスター	第75回日本消化器外科学会	手術技術のデータ化と分析を通じた効果的手術教育と安全性向上を目指したAIオペレーションシステムの開発		2021.7
番場嘉子,小川真平, 相原永子,前田文, 谷公孝,中川了輔, 腰野蔵人,近藤宏佳, 金子由香,大木岳志, 井上雄志,板橋道朗, 亀岡信悟,岡本高宏, 山口茂樹	ワーク ショップ	口演	第75回日本大腸肛門病学会	大腸癌内視鏡画像のAI解析による腫瘍深達度診断とデジタル化への挑戦		2021.11
番場嘉子,小川真平, 相原永子,前田文, 谷公孝,中川了輔, 腰野蔵人,近藤宏佳, 金子由香,大木岳志, 井上雄志,板橋道朗, 亀岡信悟,岡本高宏, 山口茂樹	ワーク ショップ	口演	第75回日本大腸肛門病学会	Colitic Cancerの病理学的特徴と治療選択		2021.11
番場嘉子,板橋道朗, 井上雄志,小川真平, 大木岳志,金子由香, 近藤宏佳,腰野蔵人, 谷公孝,前田文, 相原永子,時任史聡, 岩藤和広,山口茂樹		口演	第96回大腸癌研究会	機械学習を用いた直腸Rb癌手術の手術時間と出血量の予測		2022.1
堀沙耶香, 三谷昌平	一般講演	ポスター 発表	第92回日本動物学会オンライン米子大会	フォークヘッドボックス転写因子は強度依存性感覚処理回路のシナプス前特異性とシナプス伝達効率を決定する	オンライン 会議	2021/9/3
Sayaka Hori, Shohei Mitani	一般講演	ポスター 発表	23rd International C. elegans Conference	Contribution of a FOXD3/4 ortholog to optimization of avoidance behavior mediated by pre- and postsynaptic gene expression for a biphasic calcium response	オンライン 会議	2021/6/23

業績一覧

演者	形式	区分	研究会・学会名	タイトル	開催場所	年月日
Mayoko Tsuji , Fumi Onizawa, Nahoko Hoda, Osamu Shishime, Soshi Muramatsu, Osamitsu Yagi, Mitsuko Kondo, Etsuko Tagaya	一般公演	ポスター 発表	25 th Congress of the Asian Pacofoc Society of Respirology 2021	A Case of Lung Intravascular Large B Cell Lymphoma Developed with Acute Respiratory Failure: Usefulness of Corticosteroid Rescue Prior to Define Diagnosis	KYOTO	2021/11/2
Kazuhiro Abe, Mayoko tTsuji , Osamu Shishime, Shingo Ichiba, Mitsuko Kondo, Etsuko Tagaya	一般公演	ポスター 発表	25 th Congress of the Asian Pacofoc Society of Respirology 2021	Successful case of non-HIV PCP treated with ECMO.	KYOTO	2021/11/2
中山寿子 ,宮田麻理子	一般講演	ポスター	第99回日本生 理学大会	Social stress-induced remodeling of neuronal circuits in the sensory thalamus.	ハイブリッド	2022/3/16 -18

業績一覽

論文

著者名	タイトル	誌名
Esther Suk King Lai, Hisako Nakayama , Taisuke Miyazaki, Takanobu Nakazawa, Katsuhiko Tabuchi, Kouichi Hashimoto, Masahiko atanabe and Masanobu Kano	An Autism-Associated Neuroligin-3 Mutation Affects Developmental Synapse Elimination in the Cerebellum	Front. Neural Circuits, 28 June 2021 https://doi.org/10.3389/fncir.2021.676891
番場嘉子 , 板橋道朗, 相原永子, 谷公孝, 小川真平, 山本雅一	潰瘍性大腸炎手術におけるストーマ造設 術	手術 Vol.75 No5. April2021,p.847-851
番場嘉子 ,小川真平, 相原永子,谷公孝, 中川了輔,腰野蔵人, 近藤宏佳,大木岳志, 井上雄志,板橋道朗, 岡本高広,亀岡信悟 山本雅一,山口茂樹	AIナビゲーションによる大腸癌手術	消化器外科 6.2021
Yoshiko Bamba , Shimpei Ogawa, Michio Itabashi, Hironari Shindo, Shingo Kameoka, Takahiro Okamoto, Masakazu Yamamoto	Object and anatomical feature recognition in surgical video images based on a convolutional neural network	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery https://doi.org/10.1007/s11548-021-02434-w
Hori S , Mitani S	The transcription factor unc- 130/FOXD3/4 contributes to the biphasic calcium response required to optimize avoidance behavior.	Scientific Reports, 12, 1907 (2022).
Hayama E, Furutani Y, Kawaguchi N, Seki A , Nagashima Y, Okita K, Takeuchi D, Matsuoka R, Inai K, Hagiwara N, Nakanishi T	Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes with SCN5A R1623Q Mutation Associated with Severe Long QT Syndrome in Fetuses and Neonates Recapitulates Pathophysiological Phenotypes.	Biology (Basel). 2021 Oct 18;10(10):1062. doi:10.3390/biology10101062.
Yoshiko Bamba , Shimpei Ogawa, Michio Itabashi, Shingo Kameoka, Takahiro Okamoto, Masakazu Yamamoto	Automated recognition of objects and types of forceps in surgical images using deep learning	Scientific Reports 2021 Nov 19;11(1):22571.

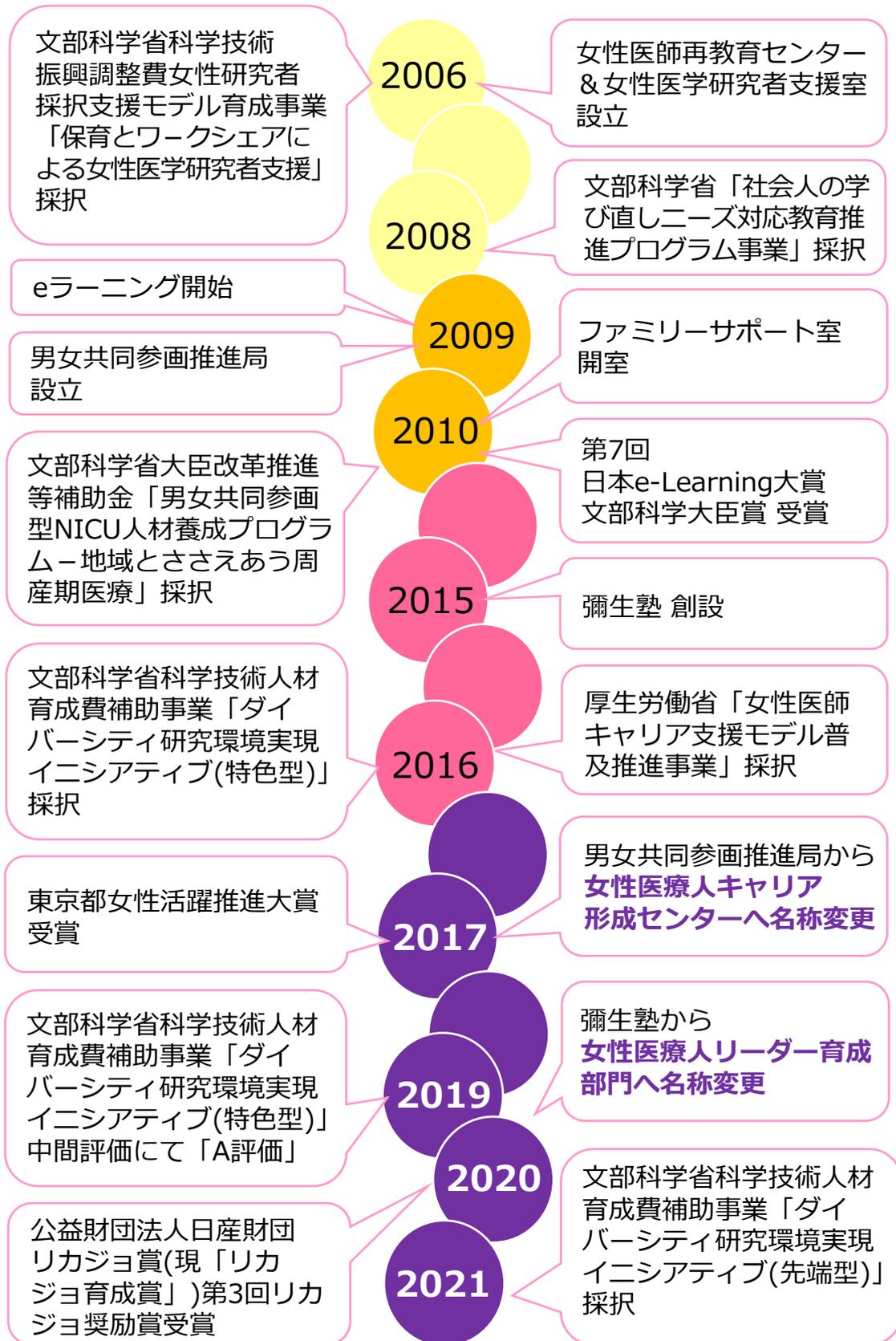
業績一覧

著者名	タイトル	誌名
Mayoko Tsuji , Mitsuko Kondo, Fumi Onizawa, Osamu Shishime , Soshi Muramatsu, Yuka Matsuo, Shuji Sakai, Junji Tanaka, Etsuko Tagaya	A case of lung intravascular large B cell lymphoma developed with respiratory failure rescued by corticosteroid prior to definite diagnosis.	Respiratory Medicine Case Reports. 101625. eCollection 2022. 3
Atsushi Kurokawa, Mitsuko Kondo, Nahoko Honda, Mami Orimo, Azusa Miyoshi, Fumi Kobayashi, Kazuhiro Abe, Tomohiro Akaba, Mayoko Tsuji , Ken Arimura, Kaname Nakatani, Makoto Ikejiri, Osamitsu Yagi, Kiyoshi Takeyama, Hideki Katsura, Kazuhiko Takeuchi, Etsuko Tagaya	Analysis of the diagnosis of Japanese patients with primary ciliary dyskinesia using a conditional reprogramming culture.	Respiratory Investigation. S2212-5345(22)00019-3. 2022.2
Atsushi Kurokawa, Mitsuko Kondo, Mami Orimo, Nahoko Honda, Azusa Miyoshi, Tomohiro Akaba, Mayoko Tsuji , Kaname Nakatani, Makoto Ikejiri, Osamitsu Yagi, Kiyoshi Takeyama, Kazuhiko Takeuchi, Etsuko Tagaya	Multifaceted analysis of Japanese cases of primary ciliary dyskinesia: Value of immunofluorescence for ciliary protein detection in patients with DNAH5 and DNAH11 mutations.	Respiratory Investigation. 59(4):550-554. 2021.7

その他

氏名	機関	名称	
西井明子	医歯薬出版株式会社	子育て中の学会参加17 総合診療医の視点から. 医学のあゆみ Vol.279. No.9. P907-911	
番場嘉子		令和3年度吉岡彌生研究奨励金	
番場嘉子		東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター 令和3年度架け橋研究支援	
堀沙耶香	日本動物学会	国際会議発表支援 川口賞	2021.4.7

女性医療人キャリア形成センターのあゆみ



女性医療人キャリア形成センター基金

女性医療人の勤務継続支援および医療人としてのキャリア形成とリーダーシップ育成を行う目的として実施しております女性医療人キャリア形成センター基金につきましては、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

これからの社会において多くの女性医療人たちが活躍できるよう、深いご理解とご関心をお寄せくださる皆様から賜りましたご芳志を深謝するとともに重ねて心からお礼申し上げます。

● **ご寄付合計額** 2,120,200円 (2021年度)

● **ご芳名一覧 (五十音順)** 島村 真登 様 他 匿名3名

申込方法、振込方法、免税措置（企業等法人、個人）など、寄付に関する詳細につきましては裏表紙に記載のセンター事務局までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

こちらからも詳細をご覧くださいませ ⇒



<メモ>

<メモ>

**女性医療人キャリア形成センター
Annual Report 2021**

発行 令和4(2022)年9月
編集 女性医療人キャリア形成センター
MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp
URL <http://www.twmu.ac.jp/gender/>



東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
TEL:03-3353-8112(内線 30166) FAX:03-3353-6793
MAIL:cdc.bm@twmu.ac.jp